

第7回「風と火災」および私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「専門知の共有に基づくアジアの火災安全情報拠点の形成」国際シンポジウム

東京理科大学総合研究院火災科学研究センターでは、研究プロジェクト「専門知の共有に基づくアジアの火災安全情報拠点の形成—情報化社会における新しい火災安全のあり方—」が私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択され活動を行っている。本プロジェクトでは、アジアの建築・都市が過去に経験のない速度、規模で高層化、深度化、そして近代化する一方で、超高層建築物や地下空間の特異な災害被害が顕在化していることを踏まえ、アジア各国間でネットワークを形成することにより被害分析などから安全性向上を図る方策を検討している。本国際シンポジウムでは、プロジェクトの成果を含め、国内外の災害被害状況や被害軽減のための対策などを紹介する。

主催：東京理科大学総合研究院火災科学研究センター

開催日時：2015年（平成27年）9月18日（金）13:00～18:30

開催場所：東京理科大学神楽坂キャンパス1号館17階大講堂

（東京都新宿区神楽坂1-3、「飯田橋」駅下車徒歩3分）

参加費：無料

参加申込：東京理科大学シンポジウム事務局（wind_and_fire@rs.tus.ac.jp）宛にメールで、名前、所属、連絡先、メールアドレスを明記の上、参加をお申し込みください。

言語：日本語・英語（同時通訳あり）

プログラム

13:00 開会挨拶 辻本誠（日本 東京理科大学教授・火災科学研究センター長）

森口泰孝（日本 東京理科大学副学長・研究推進機構長）

第一部 「風と火災」

13:10～13:35 「関東大震災における火災旋風による被害の再検討」

篠原雅彦（日本 総務省消防庁消防大学校消防研究センター主任研究官）

13:35～14:00 「韓国の風災害と火災被害」

Young-duk Kim（韓国 Catholic Kwandong 大学教授、元韓国風工学会会長）

14:00～14:25 「観覧場客席の火の粉火源を想定した燃焼性状」

林吉彦（日本 国土交通省国土技術政策総合研究所室長）

休憩（14:25－14:35）

第二部 「高層建築物と地下空間の防災対策」

14:35～15:00 「韓国の地下空間および都心トンネルの被害対策」

Young-jin Kwon（韓国 Hoseo 大学教授）

15:00～15:25 「トンネル状空間の排煙設備による煙流動」

Yee-Ping Lee（台湾 Nanya Institute of Technology 教授）

15:25～15:50 「地下商店街の火災対応の改善策に関する研究- 大田中央路地下商店街事例を中心に」

Hyung-bok Lee（韓国 大田発展研究院責任研究委員）

15:50～16:15 「消防から見た建築物の内装材の燃焼危険性」

若月薫（日本 信州大学准教授）

休憩（16:15－16:25）

16:25～16:50 「ガラス及びガラスファサードの安全性」

久田隆司（日本 日本板硝子(株)建築ガラス事業本部グループリーダー）

16:50～17:15 「ファサード試験の紹介と今後の課題（ISO および JIS）」

吉岡英樹（日本 国土交通省国土技術政策総合研究所主任研究官）

17:15～17:40 「高層建築物のファサード火災被害」

Michael Delichatsios（英国 Ulster 大学教授）

17:40～18:05 「ISO 大規模ファサード試験装置を用いた実験および考察」

Yi-chul Shin（日本 東京理科大学 PD フェロー）

18:05 閉会挨拶 大宮喜文（日本 東京理科大学教授）

※ 発表題目および内容は変更される場合があります。